

日本学術会議 化学委員会 物理化学・生物物理化学分科会（第25期第1回）議事録

日時：2020年12月25日（金）、14時30分～15時30分

場所：遠隔会議（主催会場：広島大学学術・社会連携室）Zoom 接続

出席者 21名： 相田 美砂子、阿波賀 邦夫、石谷 治、岩澤 康裕、岡本 裕巳、腰原 伸也、川合 眞紀、神取 秀樹、栗原 和枝、黒田 玲子、小林 昭子、所 裕子、内藤俊雄、中嶋 敦、西川 恵子、福村 裕史、細越 裕子、村越 敬、中嶋 敦、福村 裕史、村越 敬、山内 美穂、山内 薫、山本 達之

欠席者 2名： 三澤 弘明、森 初果

本分科会委員 23名の内 半数以上の 21名 が出席したので分科会として成立した。

【議事】

1. 役員を選出

互選により、本分科会の役員を次のように選出した。

委員長 = 岡本 裕巳

副委員長 = 村越 敬

幹事 = 石谷 治

幹事 = 山内 美穂

2. 第24期の活動報告

第24期第1回～第6回会議の議事録により、活動報告が行われた。

3. 第25期の活動方針

・アト秒レーザープロジェクトの事業継続について

本委員会の遠隔会議（本年度中に開催予定）において、マスタープラン2020のアト秒レーザー設備設置の現状に関して議論を行うこととなった。

4. その他

・日本学術会議の今後のあり方について

日本学術会議のよりよい役割発揮のための5つの協議事項（1.科学的助言機能の強化、2.対話を通じた情報発信力の強化、3.会員選考プロセスの透明性の向上、4.国際活動の強化、5.事務局機能の強化）については、来年（2月開催予定）の委員会で協議することが決められた。日本学術会議の運営形態を考える際には、本会議の経費から IUPAC などの海外の学術団体へ拠出金が支払われていることも考慮すべきであるとの意見が出された。

以上